

ー プロジェクト写真報告 ー

子どもたちが地域社会で経済的に自立する力をつける事業



パーツの名前を覚える電気配線コース受講生

中途退学者など60名を対象とした溶接、車整備、電気配線、ホームマネジメント、計4種の6ヶ月技能研修を実施しています。

(関連記事P1)  
(新潟県国際交流協会助成)



チボリ語併記の小冊子47種(写真:少女Loの米作)発行と、養鶏・木工・農業などの実践を重んじたカリキュラムが特色のフリースクール事業です。

「互いに教えることで学ぶ」学習法で基礎学力向上を図っています。このモスン教育の対象者は6-18歳の90名です。

(ひろしま・折りの石国際教育交流財団助成)

女性が、母親が自ら収入を得る事業 (FRN/ファイバーリサイクルネットワーク助成事業)



織・縫製・ビーズの技能を持つCOWHED組合員10名対象小口資金貸付事業。ティナラク織ベスト縫製で夫の学費も稼ぐバーバラ(写真左)



モロ民族母と子の識字教室運営財源として鍼灸指圧院の開業を支援。平均収入は月4000ペリで教師2名の給与に充当。写真:鍼を打つ責任者ナプサ



息子の卒業(3月末)祝いにと大切に豚を育てるスヌリアの母親。彼女を含めアトゥモロック母親クラブの30名は豚のほかビーズ細工にも挑戦しました。

山の住民が環境を修復しながら収入増加を目指す事業アグロフォレストリを実施



植林・アグロフォレストリの専門家 PFP のニックは、バイクで事業地域を巡回します。

スルタンクダラト州のブラクールとサウスコタバト州のティナゴで、それぞれ、HANDS 自己資金及び国土緑化推進機構の助成金によるアグロフォレストリが実施されています(総面積約50ヘクタール)。

日々の糧のため、乱伐でむき出しになった急斜面を耕した結果、表土が流れ地すべりも起きるなど、土壌浸食や災害が懸念される地域が対象です。

等高線状に土留め用灌木を育てて、その間に果樹と樹木の苗を植えます。数年後の果実販売による現金収入と水源涵養林育成を目指します。実績のある PFP との協働事業です。



土壌浸食が進む急斜面

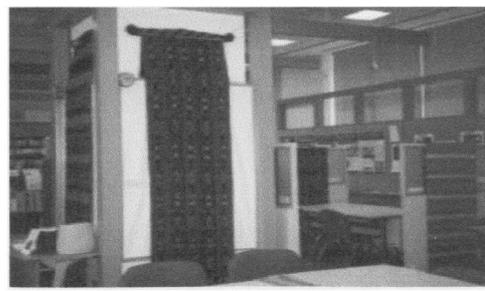
ー イベント報告 ー



10/26「豊かなミンダナオの作られた貧困」ミンダナオ出身のアガさんとリタさんによる講演と、事務局からは過去4回のミンダナオ支援ボ貯金寄付配分事業を報告しました。JANIC地球市民月間参加イベントです。



11/9 世界の若者による対話「Ring」会場の NGO 紹介コーナーで、展示と現地伝統工芸品即売をしました。(写真:担当の相田)



9/17-12/6 環境パートナーシッププラザ資料室で開催したティナラク展。アバカプロジェクトとの共催です。会場のノートに残された感想です。「夢の中に現れ織り込む模様を伝える。何度見ても不思議な織物ですね。」